



これ以上、いのちを削らせない。

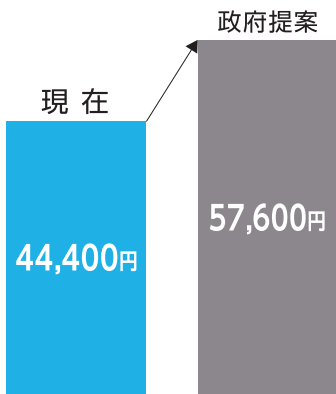
全ての世代に、負担増と給付の削減。

高齢者の患者負担上限の引き上げ

〈2017年度から実施をめざす〉

高齢者(70歳以上)の入院と外来(世帯合算)した場合の窓口負担上限額(月額)

※一般所得(～年収約370万円)



子ども医療費助成への国の罰則見直し ただし、未就学児に限定

現在、子ども医療費の窓口無料を行う自治体に対し、国が補助金を減額する罰則があります。自治体の反対をうけ、未就学児に限り罰則の廃止の方向。しかし、みんなの願いは国の責任で中学卒業まで、すべての子どもの医療費無料化です。



市販品類似薬の保険外し

〈引き続き検討〉

すでに湿布の1処方あたりの枚数制限が実施されています。今後湿布やうがい薬、痛み止めなどを保険から外すことが検討されています。



要介護1、2のデイサービスなどは、将来「総合事業」へ

要介護1、2のデイサービスなどを市町村の「総合事業」に移す方針です。これにより、利用回数が減らされたり、ボランティアに置き換えられることになります。



「負担増」「給付削減」はSTOP!
安全・安心の医療・介護の実現を求める署名にご協力をお願いします。

取扱団体